



山陰海岸ジオパーク

その3

# 浦富海岸を含む山陰海岸を 世界ジオパークに!!

シリーズ3回目の今月号は、『ジオパーク』が目指すものをご紹介します。

## 『ジオパーク』は 何を狙っているのでしょうか？

世界ジオパークネットワークが示しているガイドライン指針によると、

私たちの住んでいる浦富海岸の自然（地質等）を守る

浦富海岸の自然のことをもっとよく調べようと努力する

浦富海岸のことをよく知って、地域全体が元気になる

協力してジオパーク推進に係わることにより、互いの理解を深め、地域の輪を広げていく

ことを目指しています。つまり、『ジオパーク』は「世界遺産」とは異なり、学術的に貴重なので保護するだけでなく、地域で培われてきた自然や文化を大切にして紹介や活用をしていくことが大切となってきます。



洞門、洞窟、奇岩など様々な海食地形で形成される「城原（しろわら）海岸」付近

町では、浦富海岸地区におけるジオパーク推進にかかる活動を地域が一体となって活動していくため、「浦富海岸ジオパーク推進協議会」を設立し、6月22日（月）「第1回浦富海岸ジオパーク推進協議会」を開催しました。協議会は7団体の代表で構成され、今後は、浦富海岸を含む山陰海岸の世界ジオパーク加盟にむけて、情報・連携を密にして、様々な取り組みを進めていきたいと思っています。

『ジオパーク』に関するお問い合わせは自立推進課（☎73-1412）までお願いします。

### 今月の納税

## 固定資産税<第2期>

7月31日金

### 編集後記

岩美町は、昭和29年7月に、2町7村が合併して誕生しました。今月でちょうど合併して55年です。55年経っても変わらないもの—やっぱり海のきれいなじゃないでしょうか。今回、取材で大羽尾に行きました。お話を聞くと、月に1回地域住民で、海岸清掃を行っているとのこと。岩美の海がいつもきれいなのは、このような町民の方の支えがあるからなのだとつくづく感じました。 なか

## 笑顔がいっぱい!

今月の笑顔がいっぱいの保育所は、大岩保育所です。

笹の葉のよい香りがする6月と言えば、ちまき作り！エプロンと三角巾をつけて、よーくこねて、くるくる笹の葉を巻きました。

給食の先生に、ちまきをふかふかに蒸してもらいました。ふかふかに蒸し上がったちまきを、みんなで輪になって食べました。やっぱり、自分で作ったちまきは最高の味です。

